

いじめ対策の「い・ろ・は」10号

令和7年1月 発行 岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

年度末、新学期に向けて、「いじめ」の認知やその解消について振り返りましょう。

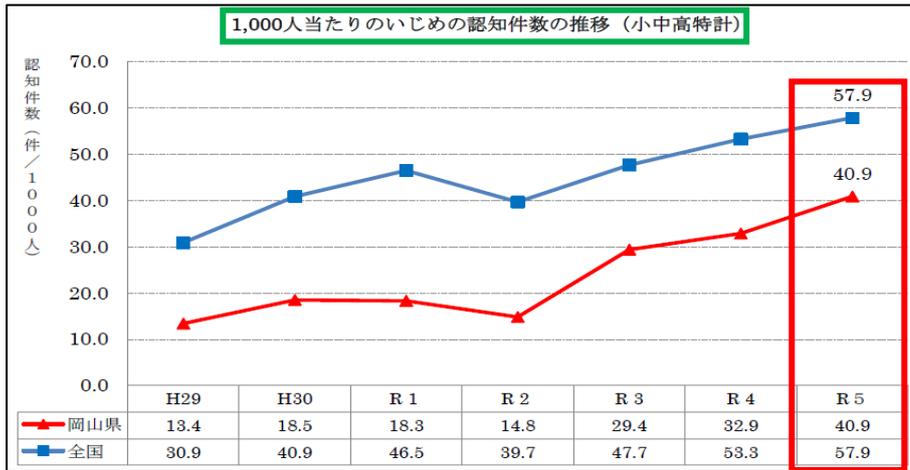
★令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査より★

年度	認知件数	いじめの解消率 (%)		1,000人当たりの件数	
	岡山県	岡山県	全国	岡山県	全国
令和3年度	6,085	71.6	80.1	29.4	47.7
令和4年度	6,723	66.0	77.1	32.9	53.3
令和5年度	8,262	66.4	77.5	40.9	57.9

下のグラフ参照

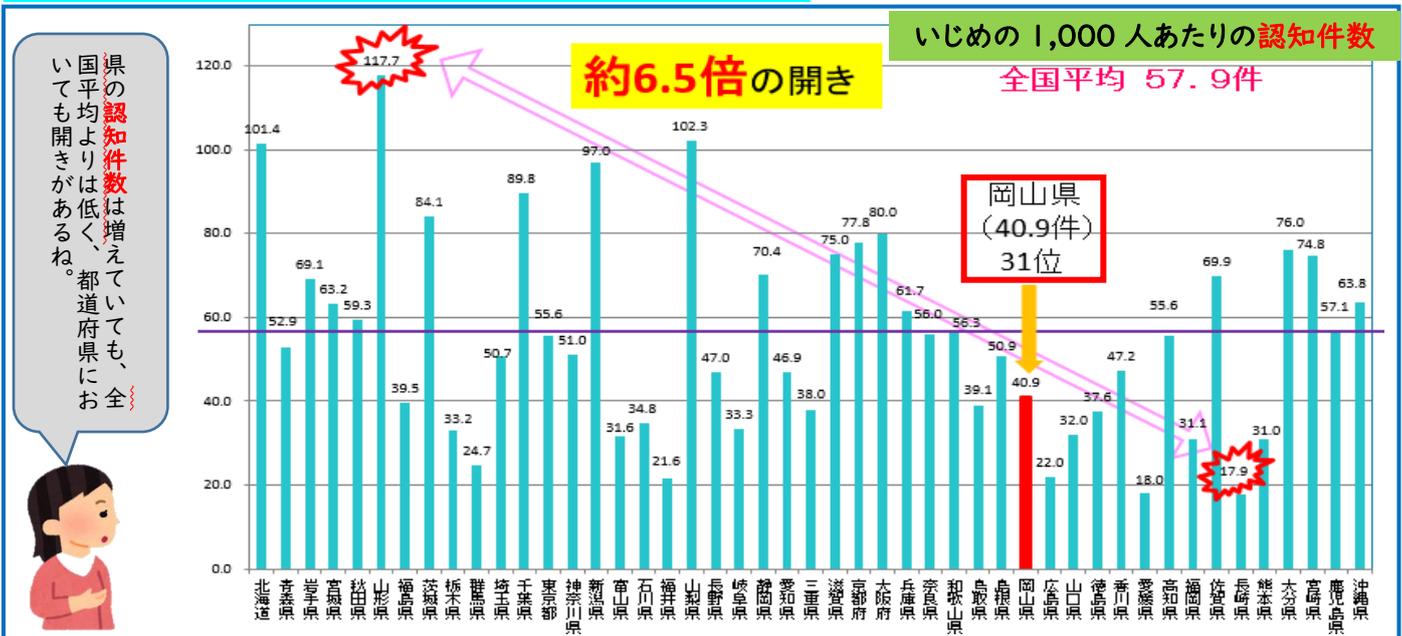
〈国公立、小・中・高・特 計 ※岡山市含む〉

「いじめ」はどの学校、どの学級、どの子どもにも起こりうる問題です。「いじめを認知している」ということは、いじめの発見や解消に向けて真剣に向き合っている証です。国は、いじめの認知件数の多い学校について、「いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取組のスタートラインに立っている」と極めて肯定的に評価することとしています。



岡山県内では、認知件数、解消率ともに前年度調査より増加しています。特に認知件数については、大きく増加（前年度比1,539件増）しており、教職員が重大化や深刻化を防ぐため、積極的に認知し、早期に対応しようと、「いじめ見逃しゼロ」を目指し、法の定義に照らし合わせながら、子どもたちの日常の様子を丁寧に観察し続けているものであると考えます。

★全国との比較から見える岡山県の現状や課題について★

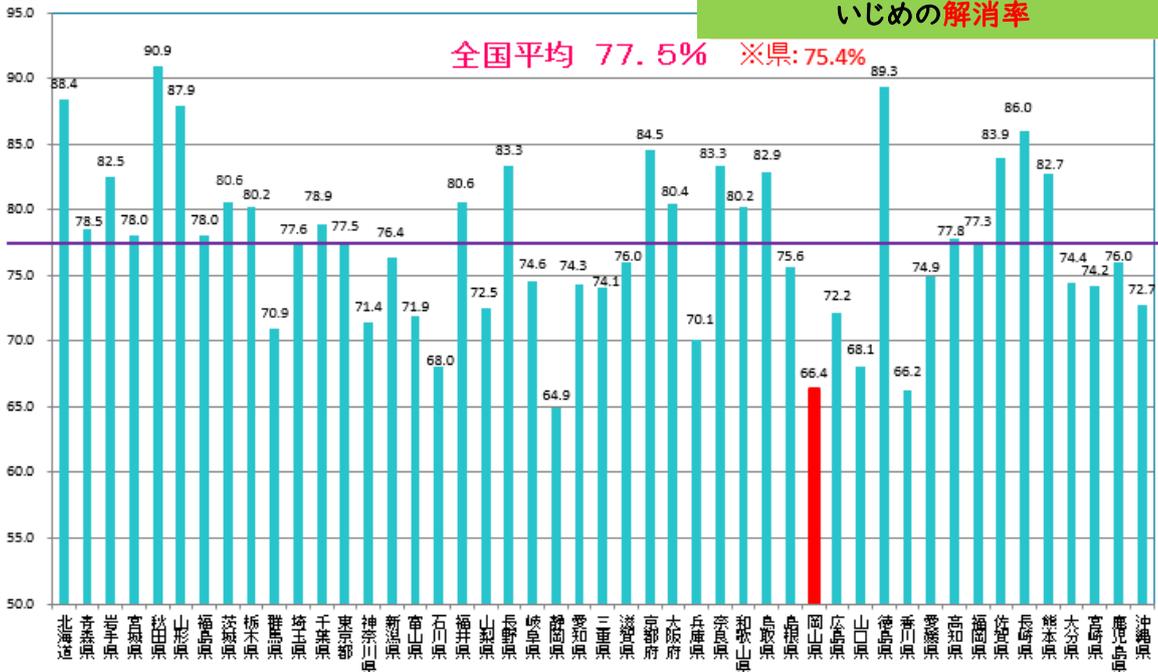


県平均より低く、都道府県に比べて認知件数は増えていても、全国平均より低く、都道府県に比べて開きがあるね。



いじめの解消率

全国平均 77.5% ※県: 75.4%



県の解消率は増加はしてもまだ全国平均よりは低いことがわかった。どう対応をしていけばよいか。



ポイント

岡山県の現状

R5年度は、認知件数、解消率ともに増加したが、全国平均を下回っている。

対応として

【認知件数について】

- SNS等の見えにくいいじめも含め、いじめにつながる可能性のある些細な言動も積極的に認知する。
- 1人1台端末等を活用しながら、心身の変化やSOSなどを含めた「いじめ見逃しゼロ」を引き続き目指す。

【解消率について】

- 丁寧に見守りをして安易に解消していない対応の結果でもあるが、長期化することによって複雑化・深刻化しないよう組織的に対応しながら被害児童生徒の気持ちに寄り添い、年度を越えても確実に解消していく。



★情報を簡単に記録・報告するために★

様式送付【参考】いじめの経過確認表（認知から解消まで）

今回送付。Excelでカスタマイズ可！

記入例

令和●年度 いじめの経過確認表（認知から解消まで） ◇◇市立◇◇小学校 ※本表は、あくまでも経緯のみを表示し、解消できていない案件について把握することが目的である。

番号	学年	組	氏名	備考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	次年度への引き継ぎ等
1	4	A	○○ ○○		4/12 認知	—	—	7/22 解消									
2	5	B	△△ △△			5/9 認知	—	—	—	9/16 解消					2/2 認知	—	4/2新担任ケース会議予定
3	2	なかよし	□□ □□	2A (文庫及び利用学習の平假)			6/23 認知	—	—	—	10/2 解消						
4	2	A	◇◇ ◇◇							9/22 認知	—	—	—	1/19 解消			
5	1	B	☆☆ ☆☆	■…保護者のみ未納得							10/6 認知	—	—	■	■	3/4 解消	
6	6	A	◎◎ ◎◎				6/1 認知	—	—	9/15 解消				1/20 認知	—	—	3/21小中連絡会で共有済 (学級編成配慮)
7	2	C	… …		—	—	6/18 解消										1年次の2/21に認知し、 見守りを継続していた。

簡単な経緯（認知から解消）のみを一覧で表示することで、解消できていない案件について把握できるようにする。
また、年度を越えても確実に解消できるように、新年度も全職員が意識をもつことができるようにする。